

LARRABURE

NEW YORK TOKYO

皮膚科学のララビュウ

確かに届く、早く効く

全方位型**バクチオール**を新配合。

シミ・しわ対応**VC**^{ビタミンC}ローション

こんなひとに

- しわが気になる
- シミが目立つ
- 朝起きると乾燥している
- メイクが崩れやすい
- 夕方顔色がくすむ
- ニキビができやすい
- ニキビが治りにくい
- 敏感肌だと感じる
- 肌荒れしやすい

ララビュウ

ホワイトCエッセンスローション-N

[美容液ローション]

150mL 4,400円(税込)

300mL 8,580円(税込)

オールフリー:アルコール、香料、鉱物油、タール系色素

使い方

- ① 朝晩の洗顔後に手のひらで
- ② シミにはコットンでローションパックを
- ③ 肌がひんやりするまで重ねづけ

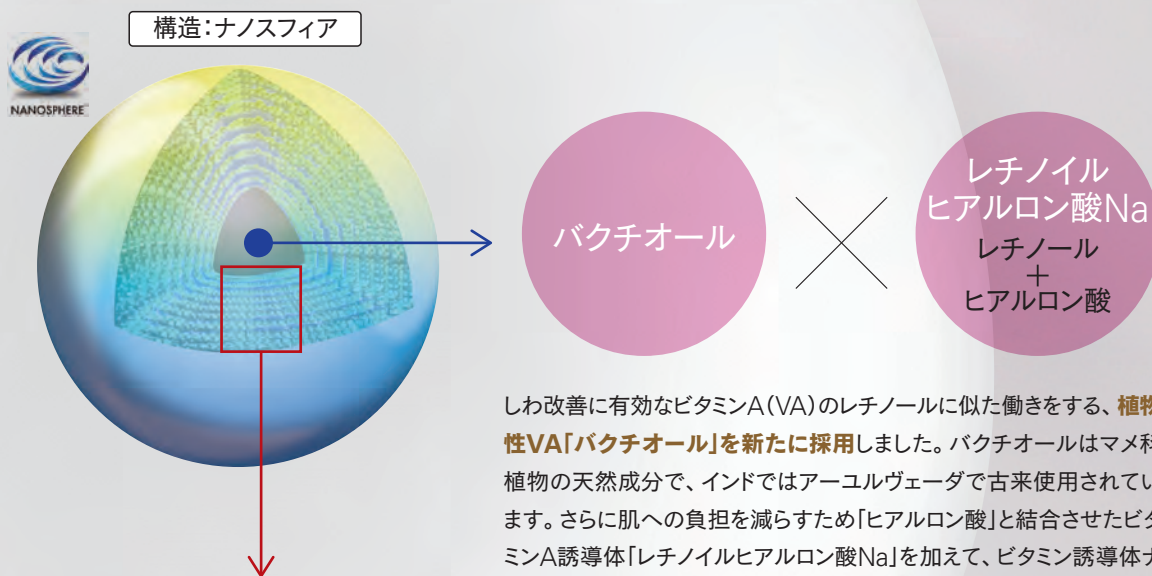
[掲載・取材のお問い合わせ先]

潤子ララビュール info@larrabure.co.jp <http://www.larrabure.co.jp/>

TECHNOLOGY

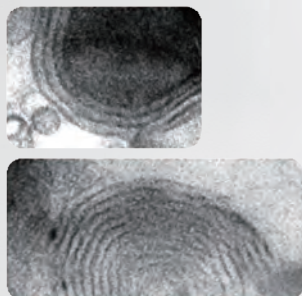
Q:4代目ローション、進化ポイントは？

A:バクチオールとレチノイルヒアルロン酸Naを
ナノスフィアにカプセル化しました



しわ改善に有効なビタミンA(VA)のレチノールに似た働きをする、**植物性VA「バクチオール」**を新たに採用しました。バクチオールはマメ科植物の天然成分で、インドではアーユルヴェーダで古来使用されています。さらに肌への負担を減らすため「ヒアルロン酸」と結合させたビタミンA誘導體「レチノイルヒアルロン酸Na」を加えて、ビタミン誘導體ナノカプセル「ナノスフィア」に内包。抗酸化作用の高いカプセルは**成分の鮮度を保ちながら、効かせたい層に時間差でリリース**していきます。

ナノスフィアの電顕写真



ナノカプセルの皮膜が水にも油にも溶けやすい両親媒性VC、ビタミンE(VE)誘導體でできているため、安定しながら浸透していきます。

Q:肌への効果は？

A:低刺激でいて、しわやシミ、
たるみ、ニキビに効果があります。

新配合のバクチオールは遺伝子を活性化させターンオーバーを促すことから、またララビュウ独自の処方により、さまざまな肌悩みに効果を持つのが特徴で、漢方薬のように根本から肌を立て直していきます。肌を土台から底上げするのでぷるんと弾力ある透明肌に。ニキビができて早く治り、ニキビのできにくい肌へ。またどんなに優れた成分を配合してもいかに効率的に浸透させるかが重要であるため、抗酸化力カプセルでしっかりと鮮度を保ちながら適材適所で成分を浸透させます。

TECHNOLOGY

ハリ・ツヤの ビタミンカクテル

ビタミンC(以下VC)は高濃度であればいいというわけではありません。抗酸化作用が高いため、エイジングケアから美白までマルチにこなすパワフルな美肌成分という強みと、非常に壊れやすく乾燥するという弱点から、鍵になるのは純度を高める技術と処方力。役割の異なる3つのVCが補完しあい全方位に届くカクテル処方で、シミもしわも乾燥も同時にケアするのが最大の強みです。

3D浸透の APPS

(高浸透型ビタミンC誘導体:
パルミチン酸 アスコルビルリン酸3Na)

肌の弾力をつかさどるコラーゲン、エラスチンの生成に欠かせないAPPS。真皮まで届き美肌の源となるマルチ成分です。

越境保湿の GO-VC®

(持続型ビタミンC誘導体:
カプリリル2-
グリセリルアスコルビン酸)

高速浸透の APS

(スピード型ビタミンC誘導体:
アスコルビルリン酸Na)

バリア機能の TPNa

(ビタミンE誘導体:
トコフェリルリン酸Na)



世界が注目の エイジングケア

ハリ弾力ツヤの
リポフラーレン

しわケアペプチド
ムナプシス

巡り整うために

美肌菌を育てる
乳酸菌

カルボニル化抑制
モモの葉エキス

敏感肌にも対応

肌荒れを防ぐ
ダマスクバラ水



エビデンス数が多い
信頼の成分で処方しました。

優れた成分は惜しまず採用し
アップデートします。

I・T・O®プロビタミンリサーチセンター(ITO):メディカルコスメ開発で有名な(株)ITOの研究拠点。ITOは日本皮膚科学会、などで化粧品の企業セミナーを学会と共催している。ビタミンC誘導体APPSを初めに化粧品へ応用したことで知られる。書籍「女性医師が教えるスーパービタミンC美肌術」などの編集にも携わる。

Medical Opinion
I・T・O®プロビタミン
リサーチセンター長

Beauty Producer
潤子ララビュール

コスメ好きが高じて、外資航空会社のCA時代は月50万円を美容代に投資。NYなどの皮膚科学分野の学会に通訳者として参加するうちに、皮膚科学と五感の両立の必要性を実感してララビュブランドを設立。

潤子 先生ますますいいのができましたね。
ITO 前作がもうこれ以上ない出来でしたからね。進化したローションは「バクチオール」の効果を最大に発揮しつつ刺激性を最小限に抑えて、段階的に肌へ浸透させることを第一に考えました。いくら植物性のRT様物質と言ってもバクチオール単体では敏感肌対応とは言えません。刺激と酸化から守るため「レチノール」に「ヒアルロン酸」と結合させた「レチノイルヒアルロン酸Na」とともに、ビタミン誘導体カプセル「ナノスファイア®」に内包しました。
潤子 バクチオール配合コスメは今年日本でもよく見かけますね。
ITO そうですね、でもじつはバクチオール自体は20年ほど前からあり、レチノールと同じような機能をするので米国の皮膚科学会では知られていました。化粧品原料としてここまで豊富なエビデンスがある成分は少ないんです。
潤子 つまり効果も安全性も高いということですね。エビデンスといえばVCは圧倒的な論文数を誇りますね。ララビュウのローションには最先端のVCをトリプル配合していただきました。
ITO VCは本研究所のメインテーマでもありますが、驚くことに毎年新しい論文が発表されています。コロナウイルスの抑制試験でも抗ウイルス作用があることがわかりましたし、クリニックユースが多いのもうなずけますね。
潤子 ララビュウのローションはじつは化粧品工場ではつくれない品質で、原料の仕入れから製造、出荷まですべての過程で安全と品質を一貫して保つGMP工場でつくっていただいているんですね。10年以上ロングセラーの理由はここにあります。